



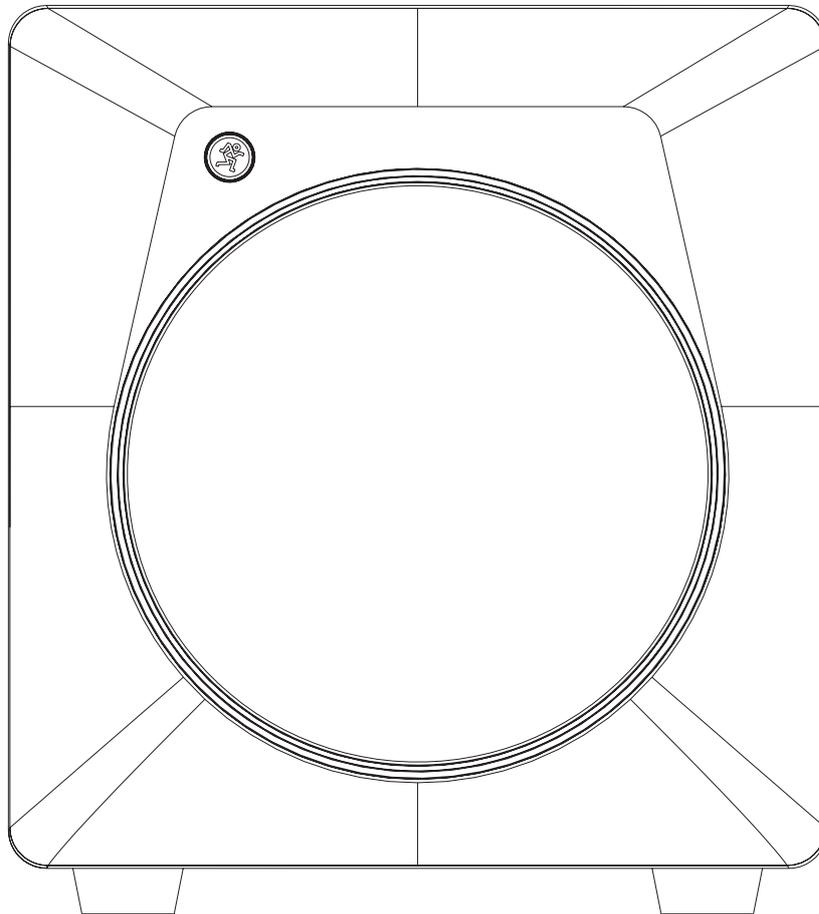
CR8S BT

CREATIVE REFERENCE SUBWOOFER
WITH BLUETOOTH

サブウーファー（Bluetooth付き）

クイック・スタートガイド

Ver. 1.0



安全上の注意

- この製品を使用する前に本書をよくお読みください
- 本書は必要などきに見返せるよう、大切に保管してください
- 警告表示には必ず従って、正しくご使用ください
- 水のかかる場所や湿気の多い場所では使用しないでください
- 本機を液体のかかる場所に置かないでください。また操作や電源コードの取り扱い、濡れた手で行わないでください
- お手入れは乾いた布で行ってください
- 製品の通気口をふさがないでください
- 電源を接続する前に、本製品の電圧仕様が使用する地域の電源電圧と一致していることを確認してください。適切に設置されたコンセントを使用してください。
- 雷が接近している場合や、長期間本製品を使用しない場合には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください
- 意図しないトラブルが起こったときのために、電源プラグや電源スイッチを容易に操作できる状態にしておいてください
- 本製品および電源コード、接続ケーブルを暖房器具やストーブなど熱を発生する機器の近くには設置しないでください。また裸火を近づけないでください
- 本製品の近くで可燃性ガスを使用したスプレーなどを噴射しないでください。引火のおそれがあります
- 本製品を移動するときは、電源ケーブル、接続ケーブル等をすべて抜いてから行ってください
- 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください
- 付属の電源ケーブルをほかの電化製品に使用しないでください
- メーカーが指定した付属品・アクセサリのみを使用してください
- ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないでください。本体の故障や、けがをする可能性があります
- スピーカーは定格範囲内で使用してください。定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると故障の原因になります
- 安定した場所に設置してください。落下などにより破損したり、周囲の方が負傷する場合があります
- 吊り下げて使用しないでください。吊り下げて使うように設計されていないため、製品が落下して人命に関わる事故の原因になる可能性があります
- 修理や点検は、必ず専門の技術者にご依頼ください。以下のような場合には、製品の修理が必要です
 - ・液体をこぼした、異物が製品内部に入り込んだ
 - ・落下や踏みつけなどで、本体または電源コードやプラグ等が損傷した
 - ・雨や強い湿気にさらされた
 - ・正常に動作しない
 - ・異臭や異常を感じた
- テレビやラジオ、携帯電話の近くで使用するとノイズが発生する場合があります
- 大音量で使用しないでください。聴覚障害を引き起こす可能性があります。また、音量にかかわらず長時間の聴取により継続的に耳に負担をかけ、聴力に悪影響を及ぼす可能性があります

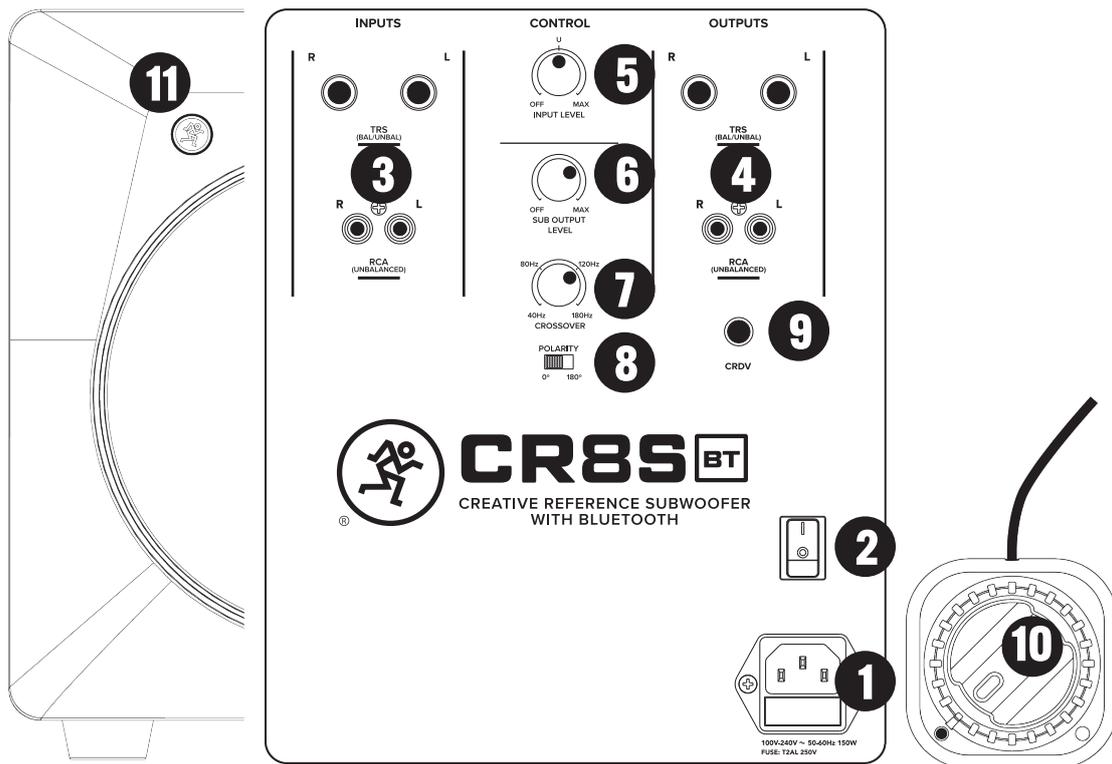


注意

感電の危険があるため、カバーを取り外さないでください。修理は必ず専門の技術者にご依頼ください。

※本製品を廃棄する際は、お住まいの地域で定められたルールに従って処分してください

フロント&リアパネルの説明



① 電源端子

同梱のAC電源コードをこのIECジャックに接続します。このモデルは100V専用です。日本国外での使用はできません。

② 電源スイッチ

サブウーファアの電源のON/OFFを操作します。電源が入るとフロントパネルのLEDが光ります。

③ INPUTS

ミキサーなどの音源からのライン出力を接続します。

④ OUTPUTS

CRシリーズなどのフルレンジモニタースピーカーと接続します。

⑤ INPUT LEVEL

入力感度を調整します。はじめはUの位置でお試してください。

⑥ SUB OUTPUT LEVEL

好みの低域レベルと、クロスオーバーへの出力レベルを調整するためのノブです。はじめはセンターの位置でお試してください。

⑦ CROSSOVER

サブウーファアとOUTPUTSに接続したモニタースピーカーとの音のつながりを最適化します。40Hz~180Hzの間で自由に設定が可能です。接続したフルレンジスピーカーとの最適な値で調整してください。はじめはセンターの位置でお試してください。

⑧ POLARITYスイッチ

位相反転スイッチです。通常は0°で設定してください。低域の明瞭度がはつきりしない場合にのみ180°に切り替えてお試しください。

⑨ CRDV端子

同梱のCRDVボリュームコントロールをこの端子に接続します。

⑩ CRDVボリュームコントロール

システムとサブウーファースの出力レベルを個別に調整できます。

⑪ Bluetooth

Bluetoothで接続する際に、このボタンを長押しします。最後にBluetooth接続した機器と再度接続する場合には、このボタンを素早く押します。

Bluetooth接続中にこのボタンを押すと、一時停止／再生の操作ができます。静電気放電が起これると、Bluetooth接続が解除される場合があります。

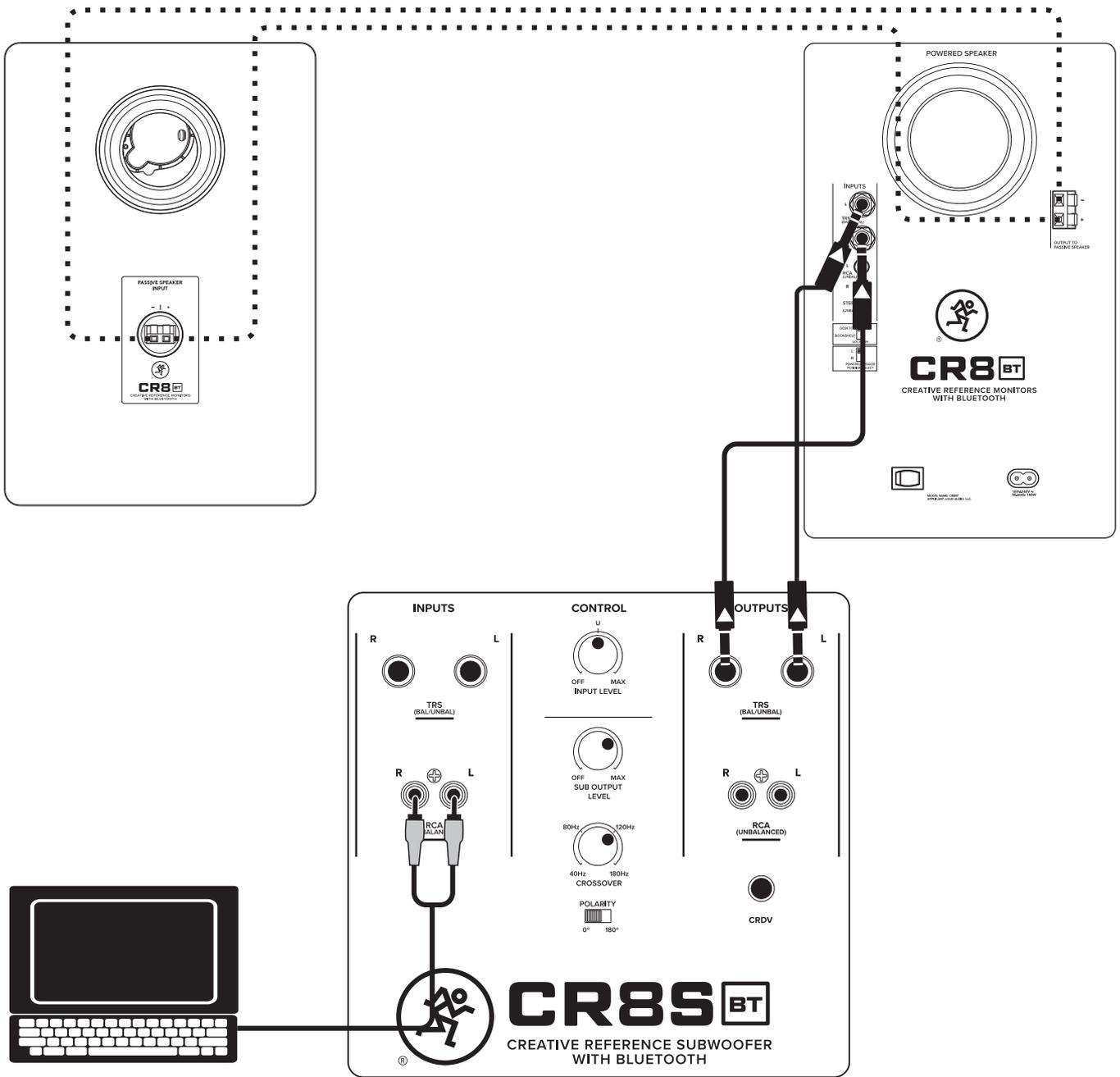
【注意】 CRBTシリーズ等他のBluetoothデバイスのペアリングを解除してからCR8SBTとペアリングを行ってください。

クイックスタート

1. P.2に記載している安全上の注意を必ず読んでください。
2. すべての機器の電源をOFFにした状態で、配線を行ってください。ボリューム、レベル、ゲインなどすべてのコントロールを完全にOFFにしてください。
3. ミキサー（または他の音源）からの出力を、サブウーファースのリアパネルにあるINPUTSに接続し、サブウーファースのOUTPUTSからの出力を、モニタースピーカーのINPUTSに接続します。同梱のCRDVボリュームコントロールは、CRDV端子に接続します。
4. 電源コードを、サブウーファースまたはモニタースピーカーの電源端子にしっかりと差し込み、もう一方の端をコンセントに接続してください。本機は100V専用です。日本国外での使用はできません。
5. ミキサー（または他の音源）の電源を入れます。
6. サブウーファースの電源を入れます。レベルはUnity(U)の位置にします。
7. CR8SBTのスピーカー前面にあるMackieアイコン(⑪)を長押しして、ペアリングモードにします。接続したいBluetoothデバイスの【設定】→Bluetoothより「CR8SBT」を選択して、ペアリングを行ってください。CR8SBTとペアリング完了後、上記(3)でCR8SBTと接続したモニタースピーカーの電源を入れ、レベルをUnity (U) の位置にします。
8. 音源を再生し、ミキサー（または他の音源）のレベルを快適な音量に調整します。

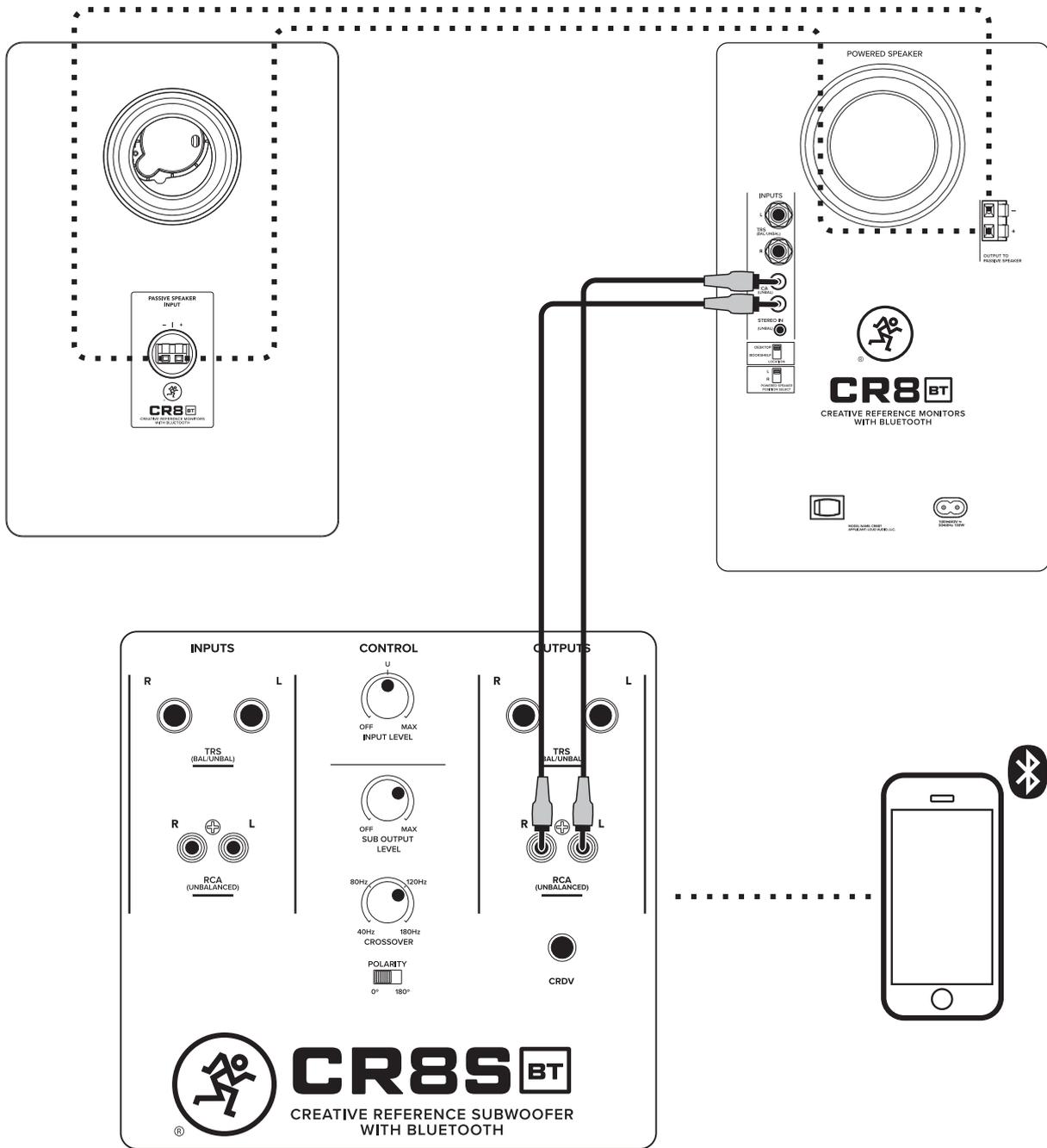
接続図

PC等とサブウーファー (CR8SBT) とモニタースピーカーの接続例



接続図

Bluetooth再生機器とサブウーファー (CR8SBT) とモニタースピーカーの接続例



製品仕様

	CR8SBT	
周波数特性 (-10 dB)	30 Hz - 400 Hz	
最大SPLピーク	112 dB	
トータルパワー	100 W (RMS) クラス D アンプ	
入力/出カタイプ	メス 1/4 インチバランス / アンバランス RCA アンバランス	
Bluetooth	5.0 オーディオストリーミング	
電源	100V-240V, 50-60 Hz, 150W	
寸法 (H×W×D)	CR8SBT 356×411×320 mm	CRDV 51×110×81 mm
質量	CR8SBT 11.5kg	CRDV 0.15kg

※製品の仕様は予告なく変更することがあります

